



---

令和元年度  
那覇市若狭公民館  
事業報告

---



## Ⅱ 令和元年度若狭公民館事業目次

- 1 学習風景（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 成人一般対象事業
  - 〔1〕市民講座
    - ◇ウクレレで弾き語り・・・・・・・・・・・・・・・・
    - ◇慰霊の日関連企画 朗読劇「にんげんだから」・・・・・・・・
    - ◇おきなわ アリの世界・・・・・・・・
    - ◇Viva! ブラジル・ワカサンバ! 打楽器&ダンス講座・・・・・・・・
    - ◇南の島の南極教室2019・・・・・・・・
  - 〔2〕健康講座
    - ◇“楽しくウォーキング”週に3日のウォーキングを習慣に!!・・・・・・・・
- 3 高齢者対象事業
  - 〔1〕高齢者学級
    - ◇終活のすすめ・・・・・・・・
- 4 青少年対象事業
  - 〔1〕少年教室
    - ◇科学のびっくり箱!なぜなにレクチャー(二足歩行ロボット)・・・・・・・・
  - 〔2〕青年講座
    - ◇世界のウチナーンチュ直伝!南米の家庭料理教室・・・・・・・・
  - 〔3〕放課後子ども教室
    - ◇若狭公民館地域子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」・・・・・・・・
- 5 その他の事業
  - 〔1〕地域連携事業
    - ◇沖縄・ネパール文化交流プログラム「ネパールニューイヤーパーティー」・・
    - ◇リッカ!ヤールーキャラバン!2019・・・・・・・・
    - ◇うみそら上映会 in 若狭海浜公園・・・・・・・・
    - ◇第23回若狭地域文化祭・・・・・・・・
    - ◇CGG年末美化清掃プラスONE・・・・・・・・
    - ◇新春もちつき大会・・・・・・・・
    - ◇防災キャンプ'19夏・・・・・・・・
    - ◇防災キャンプ'19秋・・・・・・・・
    - ◇防災キャンプ'20冬・・・・・・・・
  - 〔2〕提案事業
    - ◇第6回こども国際映画祭in沖縄(KIFFO) こども実行委員会・・・・・・・・
    - ◇移動式屋台型公民館を活用した住民主体の  
「つどう・まなぶ・むすぶ」創造拠点創出事業・・・・・・・・
- 6 第28回若狭公民館まつり・・・・・・・・

# 1 学習風景

市民講座  
「ウクレレで弾き語り」



市民講座  
「慰霊の日関連企画  
朗読劇『にんげんだから』」



市民講座  
「おきなわ アリの世界」



高齢者学級  
「終活のすすめ」



市民講座  
「Viva! ブラジル・ワカサンバ!  
打楽器&ダンス」



青年講座  
「世界のウチナーンチュ直伝!  
南米の家庭料理教室」



## 2 成人一般対象事業

### 〔1〕 市民講座

#### ウクレレで弾き語り

趣 旨 : 公民館内で活動する定期利用団体参加者の高齢化に伴い、活動を終了する団体が目立ってきた。そこで定期利用団体の活動を公民館側で後押しする方法の一つとして、サークル講師を招いての講座を実施する。今回は若狭ウクレレサークル Mili Mili の名城孝之郎先生を講師にウクレレ弾き語り講座を行う。軽くて持ち運びも容易なウクレレに親しむことで、参加者が持続的に活動できる新たな趣味に出会うきっかけを提供するとともに、講座終了後にはサークルへの参加や自発的な活動の継続を促す。

期 間 : 令和元年7月2日～30日の火曜日

時 間 : 13:00～14:30

場 所 : 那覇市若狭公民館 第1研修室

対 象 : 那覇市内在住・在勤・在学者

受講料 : 無料

定 員 : 20人程度 申込人数: 30人(うち受講決定人数30人)

参加延べ人数: 123人

講 師: 名城 孝之郎(若狭ウクレレサークル Mili Mili 講師)

#### ◇学習プログラム◇

回数	内容	人数
1	楽器の歴史、仕組み、種類について学ぶ。基本的な4つのコード(C、Am、F、G7)を学ぶ。	31
2	コードの練習、曲の弾き歌い(「森のくまさん」、「HAPPY BIRTHDAY」、「ていんさぐぬ花」)。	25
3	コードの練習、アルペジオ奏法について学ぶ。曲の弾き歌い(新曲「知床慕情」)	25
4	コードのおさらい、ダウン・アップストロークの実践、曲の弾き歌い(新曲「月の砂漠」)	20
5	コードのおさらい、曲のおさらい、曲の弾き歌い(新曲「童神」、「今日の日はさようなら」)	22



#### 【参加者の声】

すらすらウクレレを弾けるようになった／指使いが遅くてとまどったが、大変勉強になりました／ウクレレのコードが理解できて良かった／みんなで歌う楽しさを思い出しました／今後も続けていきたいと思った

#### 【まとめ】

全5回のウクレレ講座を通して、回を重ねるごとに参加者が上達している様子がうかがえた。加えて参加者同士のコミュニケーションも増していき、参加者同士で教えあったり声を掛け合ったりしながら受講していた。今回参加したうちの数名は引き続きウクレレを続けていきたいという意思があることから、今後新たなウクレレサークルが立ち上がる可能性が出てきた。このように、参加した市民の趣味づくりや、それに関する継続的な活動へのきっかけとなったことは、今回の講座の目的にかなう結果となった。

## 慰霊の日関連企画 朗読劇「にんげんだから」

趣 旨：戦後74年目の慰霊の日に、平和に対する願いを込めた朗読劇を鑑賞することで、その当時の社会状況や人々の気持ちに想いをはせ、改めて戦争や平和について考える機会とする。

期 日：令和元年6月23日（日）

時 間：15：00～16：00

場 所：那覇市若狭公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方、関心のある方

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：事前受付なし

参加述べ人数：89人

出演者等：大城俊／作、上江洲朝男・高宮城六江／出演、ほか



### (参加者の声)

- ・慰霊の日に時季を得た朗読劇、大変感動しました。二人の語り口の素晴らしさ、その内容、最後の群読の7名方、大変すばらしかった。もっともっと地域の方々にかいて欲しいと思いました。公民館講座、これからもこうした感動する機会を作って欲しい。本当にありがとうございました。
- ・初めて朗読というもの聞いたが、面白かった。途中、話のストーリーが見失って今どうなっているのかわからなくなったが、メッセージはわかった。朗読者がとても上手で、何人も登場人物がいるみたいだった。
- ・闘っているということは負けていないということ。忘れないでいたい。今日という日だけでなく、これからの毎日、平和について考え続けたい。初めて朗読劇を観ました。引き込まれました。
- ・74年前のことだけど、今こうやってお話を聴くことは大切だなと思いました。やっぱり平和の時代に生まれて良かったと思うし、平和に生まれたからって戦争を知らないっていう人は出てきて欲しくないです。
- ・「言葉」でこんなに感動したし、心が震える体験ができるんですね。読者や演劇、アートなどちがう、表現の可能性を感じます。人間のもつ根源的な力を信じることができるすばらしい作品でした！ありがとうございます。もっと多くの人に見てほしい舞台です。
- ・朗読劇を初めて見て、言葉だけなのに、こんなに話に入り込めるすごいものなんだなと思いました。また、戦争の悲惨さと言葉や文字の大切さがわかりました。

### (まとめ)

朗読劇を観賞して改めて平和について考える機会となった。想像力をはたらかせることで、自分自身もその世界に入り込み、情景を思い浮かべることができた。朗読劇を初めて観賞し「言葉のちから」を強く感じた参加者も多かった。予想以上の参加者に来場していただき、なかには親子連れや赤ちゃんと一緒に参加された方もいて、平和への想いをつなぐ、ひとつの機会になれたのではないかと思う。

## おきなわ アリの世界

趣 旨：沖縄県内で採集されたアリの標本や写真などをみて、アリへの関心を高めてもらう。また、身近な生き物であるアリを通して、沖縄の自然について興味をもち、その素晴らしさを感じてもらうことを目的とする。

期 間：【展示】令和元年7月5日（金）～7月7日（日） 9：00～17：00

【講話】令和元年7月7日（日） 14：00～15：00

場 所：那覇市若狭公民館 第2研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方、関心のある方

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：【展示】事前受付なし 【講話】33人

参加述べ人数：【展示】79人 【講話】70人

講 師：高嶺 秀恒（元教員／アリ研究家）

学習プログラム：【展示】アリの標本・採集道具・アリの分布図などの展示

【講話】アリの種類や生態・採集の様子などの講話、質疑応答



### （参加者の声）

- ・アリの種類の多さに驚きました。夏休みの宿題につなげていきたいです。
- ・丁寧に説明していただき、アリのことを知ることができました。アリの種類が沖縄は特別多いことや目はあるけど、触角で他を判断していることなど。子どもたちも標本を興味深く見ていました。ありがとうございました。
- ・クロトゲアリの巣がやわらかくてびっくりした。
- ・アリにはいろいろなアリがいて、似ているところや違うところがあるとわかった。ノートにたくさんメモできました。
- ・身近なアリがこんなにおもしろい。知らないことが多かったことなので親子で楽しめました。とても良かったです。時間をもっととって参加できると良いと思いました。
- ・沖縄はアリの固有種が多いことを学んだ
- ・兵アリがいない種がある。「そのう」の機能。アリが触角をキレイにしている。アリ固有種は沖縄が多い。県だけで30種。八重山が特に。

### （まとめ）

3日間の展示と最終日の講話という構成の講座を行った。主に県内で採集された120種あまりのアリの標本やアリの巣、採集道具、写真など豊富な資料を展示した。展示・講話ともに低学年の親子連れが多く、中には講師に専門的な質問をする子もおり、関心の高さを感じた。3日間を通し、講師が来場者へ丁寧な説明を行なったこともあり、より深くアリの魅力を知ることができた。また、アリを通して、改めて沖縄の自然の豊かさを感じることができる講座となった。

## Viva!ブラジル・ワカサンバ! 打楽器&ダンス講座

趣 旨 : ブラジルのカーニバルで活躍するサンバチーム「アギア・ジ・オウロ」を招き、サンバの基本的な打楽器演奏とダンスの講座を実施する。楽器は、那覇市と姉妹都市であるサンピセンテ市から寄贈された打楽器を使用し、レッスン後は平和通りにて総勢50～60名規模のパレードを行う。ブラジルの伝統文化であるサンバの体験を通して、異文化への関心や理解、交流を深める事を目的とする。

期 日 : 令和元年9月8日(日)

時 間 : 10:00～14:30

場 所 : 那覇市若狭公民館 ホール

対 象 : 那覇市内在住・在勤・在学者、サンバに興味がある方

受講料 : 無料(但し保険料・実費として100円徴収)

定 員 : 40人程度

申込人数 : 55人

参加延べ人数 : 66人

講 師 : サンバチーム「アギア・ジ・オウロ」のみなさん

### ◇学習プログラム◇

時 間	内 容
10:00～11:00	挨拶、講師のサンバチームの映像紹介、サンバチーム演奏
11:00～11:30	初級・中級・上級に分かれてダンスのステップ練習
11:30～12:30	大人：打楽器練習 子ども：ダンス練習
12:30～13:20	昼食（ロビーにてブラジル料理、かき氷などを販売）
13:20～14:00	子どもの打楽器練習 大人：ダンス練習
14:00～14:30	全体演奏、写真撮影、挨拶



### 【参加者の声】

なかなか触れられないブラジル文化に触れてとっても楽しかった！/こんな機会はめったにありません！最高です！/皆さん楽しく教えて下さりました。目で色々とアイコンタクトがすごい！サンバダンスの楽しさ、パテリアの迫力、楽器を学びました。楽しかった！/外国の方と触れあう機会なんて、そうないのでちょー楽しかった！/ダンスのステップがいろいろアレンジできて学べて良かった。

### 【まとめ】

今回の講座は、ブラジルのサンバチームの来沖に合わせて急遽決まったが、募集開始後すぐに定員を大きく上回るほどの申し込みがあり、サンバに対する関心の高さが伺えた。当日も飛び込みの参加者が多く、会場は人で溢れかえっていたが、参加者全員がダンスと楽器を体験することができた。また、ブラジル料理等の屋台を用意し、食文化にも触れるいい機会となった。予定していた平和通りでのパレードが中止になったものの、会場内で全体セッションをして終始大盛り上がるの講座となった。講座後には、サンバサークル立ち上げの提案もあり、今後の公民館施設の活用、保管しているサンバの楽器の活用にもつながることが期待できる。

## 南の島の南極教室2019

趣 旨：南極の環境や南極昭和基地、越冬隊員の生活などについて知り、OB 隊員や現役隊員と交流することで南極を身近に感じるようになる。また、地球規模の視野を持って思考し行動するきっかけとなることを目的とする。

期 日：令和元年10月5日（土）

時 間：13：30～16：00

場 所：那覇市若狭公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在学の方、関心のある方

受講料：無料

定 員：50人

申込人数：56人

参加延べ人数：47人

講 師：西分竜二（第34次越冬隊員）、他越冬隊OB 9人

### 学習プログラム

回	日 時	内 容	講 師	人数
1	10月5日 13：30 ～16：00	南極観測や現地での生活についての講話。 グループに別れて、越冬隊OBと交流。南極の氷と数 万年前の空気に触れる パネルや観測船の模型、防寒服、南極の石などの展示。	西分 竜二 氏 他 越冬隊OB 9名	47人



#### （参加者の声）

子ども：南極は光熱費がタダで日本より住みやすいとわかった／住んでいる生き物がほぼ鳥類ということ／南極について詳しく学びました

大人：講座はもちろんのこと、周囲の展示なども良かったです。／経験された方の意見を直接聞いたことが素晴らしかったです！／スライドや資料も豊富で、とても分かり易かったです。隊員の皆さんも休憩中も親切にいろいろお話を聞かせていただき、皆さんの「南極愛」がとても伝わりました。ありがとうございました。／息子のために来たつもりでしたが、私の方が興奮してしまいました。自然のこといろいろ知りたいと思いました。

#### （まとめ）

今年度はグループに別れて、越冬隊OBの方々との交流を軸に行った。直接話しを聞きやすい雰囲気となり、素朴な質問等にも応えることができた。講話では、南極の概要をクイズや画像・動画で紹介していただいた。また、充実した展示を行うこともでき、参加者の興味・関心をさらに高めることができ、子どもから大人まで楽しめる講座となった。

## 〔2〕 健康講座

### “楽しくウォーキング” 週に3日のウォーキングを習慣に！！

趣 旨： 歩く習慣を身につけることにより、日頃の運動不足と生活習慣病の予防と改善に心掛け、健康でより楽しい日常を送る事を目指し、11月10日（日）に開催予定の「ひやみかち なはウォーク2019」への参加を目指す。

期 間： 令和元年9月17日～27日

時 間： 19：00～21：00の全4回

場 所： 那覇市若狭公民館ホール・第1研修室及び、那覇市内（大門まーいコース）

対 象： 那覇市在住・在勤・在学の方

受講料： 無料（ただし、保険料として200円は自己負担）

定 員： 30人（先着順で定員に達し次第しめきり）

申込人数：30人

参加延べ人数：85人

講 師： 堀川 恭登

#### プログラム

	実施日	内 容	活動場所	参加人数
第1回	9月17日	ウォーキングの効果と、正しく安全に歩くための注意点	若狭公民館ホール 那覇市内	28
第2回	9月20日	ウォーキングの基本姿勢と効果的な歩き方。 ウォーキングの前後に行うストレッチング	若狭公民館第1研 修室 那覇市内	17
第3回	9月24日	ウォーキングのマナーに気を付けて7.8kmのコースを歩いてみよう！！	若狭公民館ホール 大門まーいを巡る	20
第4回	9月27日	ウォーキングの楽しさを知る。ひやみかちなはウォーク申し込みと、月2回のウォーク同好会の呼びかけ。	若狭公民館第1研 修室 那覇市内	20



#### （受講者の声）

- ・ウォーキングの基本的な事を教えてもらい大変良かった。ウォーキングの時間を作ることが課題です。
- ・今回初めて参加しましたが、講師の方も気さくで、色々とお話をしたり相談も出来き、感謝しています。
- ・先生の優しく、丁寧なご指導ありがとうございました。とても楽しかったです。
- ・ウォーキング前後のストレッチ等教えていただき良かったです。毎回楽しくウォーキングが出来ました。ありがとうございました。

#### （まとめ）

今回は、みんなでおしゃべりをしながらウォーキングの楽しさを知り、ウォーキングを生活に取り入れ健康な日常を送るための体力づくりを目指すことを目標に講座を企画しました。爽やかな秋風を受けながら楽しくウォーキングをする事が出来、みなさん満足された様子でした。引き続き10月から月に2回（第2・第4金曜日）集まって、1時間程ウォーキングをする事になりました。また、ひやみかちなはウォークへの参加を呼びかけたところ10名の参加申し込みがあり、若狭公民館を通し申し込みました。

### 3 高齢者対象事業

#### 〔1〕 高齢者学級

#### 終活のすすめ

趣 旨：いつかは訪れる人生の最期、また病気などで身体が思うように動かなくなった、意思疎通ができなくなった場合のためにも、今後の過ごし方について考え備えていく必要がある。終活をすることでこれまでの人生を見つめ、自分の置かれている状況を客観的に把握でき、充実した余生を過ごすことができるきっかけづくりとする。

期 間：令和元年11月6日（水）、11月13日（水）全2回

時 間：14：00～16：00

場 所：那覇市若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の60歳以上

受講料：無料

定 員：30人

申込人数：45人

参加延べ人数：70人

講 師：長谷場咲可（上級終活カウンセラー） 与那嶺えりか（整理収納アドバイザー）

#### 学習プログラム

回数	実施日	内容	講師	人数
1	11月6日	終活講座～エンディングノート活用法～	長谷場咲可	37
2	11月13日	生前整理～安心・安全で心地よい暮らし	与那嶺えりか	33



#### （参加者の声）

- ・ エンディングノートと聞くと死を迎えるまでの残りの時間を記す日記と思っていたが、若い元気なうちから書くことで明るく希望が持てるのでは、と思った。
- ・ 「後悔しないための習慣」を意識して生活していきたい。
- ・ 片づけとは学ぶもの、という視点は新鮮だった。
- ・ 終活に対しポジティブになりました。

#### （まとめ）

終活＝死を迎えるまでの準備、と負のイメージがありますが、実はその反対で自分自身を客観的に見つめることができ、今やりたい事、やるべき事的具体策が分かりやすくなります。この講座では、気負いなく簡単にできる終活の方法を専門の先生にアドバイスしていただきました。また終活に関する知っておきたい情報を○×形式のクイズでやる、などの工夫もされていました。

講座が終了する頃には、受講者の皆さんの表情が明るくなったような気がしました。

## 4 青少年対象事業

### 〔1〕 少年教室

#### 科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー（二足歩行ロボット）

趣 旨：理科離れに対するアプローチとして、トヨタ自動車との共催で「二足歩行ロボット」の製作を行う。  
座学で仕組みを理解するだけでなく、実際に製作・体験しながら学び、モノづくりの楽しさや大切さを感じてもらう。

期 間：令和元年7月7日（日）

時 間：10：00～12：00

場 所：那覇市若狭公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在学の方

受講料：無料

定 員：32人

申込人数：32人

参加人数：32人

講 師：トヨタ技術会有志メンバー

#### 学習プログラム

回	日時	内容	講師	人数
1	7月7日	歩行ロボットを組み立て、2本足で歩くための基本的な構造を学ぶ。 人間の膝の動きを真似て重心位置やバランスを調整し足を上げて歩く仕組みを学ぶ。	トヨタ技術会有志 メンバー	32



(参加者の声)

子ども：・茶は運び人形も知らなかったし、300年前にもこんな技術はあるんだなと知った。

- ・ロボットはいろいろな機械やもので作られていると分かった。
- ・ロボットも親指などがないとちゃんと歩けないということ。

保護者：・宿題の時は5分も続かない集中力がずっと続いているすごいなと思った。

- ・自分で考え、わからなければ補助員の方に聞くなど、自分で考えて行動していることに嬉しく思いました。
- ・歩行が不安定だったのを自分で考えて工夫していたので、失敗→成功の過程が見受けられ成長を感じた。

(まとめ)

本講座は、子どもたち自身で動くロボットを作り上げるという内容で、申込受付時から人気があった。からくり人形からロボットまでの変遷に触れた上で、実際に製作に入り、最後はロボット同士の相撲で遊ぶという流れで行った。その中で子どもたちが夢中になっている姿や工夫して問題等を解決していく姿、お互いに教えあう姿がみられた。子どもたちからの満足度も高く、保護者からも「成長が感じられた」との声が聞かれ、充実した講座となった。

## 〔2〕 青年講座

### 世界のウチナーンチュ直伝！南米の家庭料理教室

趣 旨： 10月30日の世界のウチナーンチュの日に関連して、特に移住者の多い南米地域の家庭料理講座を実施する。沖縄をルーツに持つ県系人を講師に招き、移住先で食べていた家庭の味を学ぶとともに、文化や歴史、簡単な言語なども紹介してもらいながら交流を深める。料理を通して県系人と交流することで、沖縄移民の歴史を知るきっかけとなり、ひいては異文化・多文化共生に対する興味や関心を深める事を目的とする。

期 間：令和元年9月26日（木）～10月17日（木）

時 間：18：30～21：00

場 所：那覇市若狭公民館 実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方・10代～30代の方

受講料：無料(但し材料費・保険料として2,500円徴収)

定 員：15人

申込人数：16人

参加延べ人数：52人

#### ◇学習プログラム◇

回数	実施日	内容	講師	人数
第1回	9月26日	ポリビア料理：エンパナーダ、ミラネッサ、チチャモラーダ	上間洋子	15
第2回	10月3日	アルゼンチン料理：エンパナーダ、マテ茶	國吉ガブリエラ	13
第3回	10月10日	ペルー料理：パパ・アラ・ワンカイーナ、セビーチェ	藤原ネリー静子	11
第4回	10月17日	ブラジル料理：バカ・アトラダ、タピオカパンケーキ、フェジョン	石原セリーナ紀子 上原ひろみ	13

#### 【参加者の声】

料理以外にも、南米のお話がきけたことや、参加者の方と仲良くなれて良かったです！/全ておいしくて、びっくりしました。あと、豆とかパセリとか色んな食材をつかうことを知りました/ガイドブックにないお話がきけて嬉しかった/仲間と一緒に作ったり食べたりすることができて楽しかった/色んな事を学べて本当に良かった/交流場に立ちあえて良かった/沖縄でも南米の料理を作れることを学びました！工夫したらたくさん作れそう/自分達では作れない他の国の料理を作って皆で食べていろんな話も聞けて良かった/海外の料理を学ぶ機会は少ないのでまたやってほしいです

#### 【まとめ】

各回で沖縄県系人の講師を招き、生まれ育った国の家庭の味を教えて頂いた。ご飯ものからメイン料理、デザートまで様々な料理を紹介し、手に入れにくい食材は、沖縄にある食材を代用するなど工夫した。また、会場の一角には、各国を紹介するための国旗や写真・雑貨などを展示し、それぞれの移住地について紹介するコーナーを設けた。料理だけでなく、南米の街並みや生活の様子、現地の沖縄県人会活動などの話も聞き、県系人について理解を深めることができた。参加者同士もすぐに打ち解け、毎回違った雰囲気の料理教室を楽しみながら受講している様子で充実した講座になった。しかし、参加者のうち青年世代が半数しか集まらなかったため、40代以上の方の申込も受付けた。今後、青年に合わせた内容や告知方法の工夫が必要だと感じた。



第1回ポリビア



第2回アルゼンチン



第3回ペルー



第4回ブラジル

### 〔3〕 放課後子ども教室

#### 若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」

趣 旨： 子どもたちの安全な放課後の居場所として公民館を利用することから、児童が地域社会の成員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材になることを目的とする。また、エイサーをととして郷土の文化・芸能に触れる。

期 間： 平成31年4月1日～令和2年3月31日 （練習日）毎週月・木曜日

時 間： 17:00～18:00

場 所： 若狭公民館 第1研修室

対 象： 若狭小学校、天妃小学校、那覇中学校の児童生徒

登録児童：10人

参加延べ人数：677人

指導者：岸本麗子（若狭1丁目自治会会長/若狭小学校区まちづくり協議会子ども育成部長）

#### 【練習日・参加イベントの内容】

月	内 容	参加人数	時間数
4月	波の上ビーチ「海びらき」オープンセレモニー、活動日（8回）	89名	10時間
5月	活動日（7回）	57名	7時間
6月	活動日（8回）	51名	8時間
7月	若狭小PTA主催「わかさっ子祭り」、活動日（8回）	63名	9時間
8月	一万人エイサー踊り隊、活動日（5回）	78名	8時間
9月	活動日（7回）	43名	7時間
10月	若狭地域文化祭、活動日（9回）	77名	9時間
11月	天妃小PTA主催「天妃っ子まつり」、活動日（7回）	68名	9時間
12月	子どもフェスタ in なは・クリスマス会・活動日（6回）	85名	10時間
1月	新春もちつき大会・活動日（6回）	42名	7時間
2月	活動日（1回）	5名	1時間
3月	活動日（3回）	19名	3時間



↑ 一万人エイサーでの演舞



↑ 集合写真



波の上ビーチ  
海開き宣言→

（まとめ）

毎週2回のペースでエイサーを練習し、その披露の場として自治会の敬老会や地域のお祭りなどに出演してきました。また沖縄の伝統芸能を紹介するために県外の子供達との交流会に参加したり、毎年夏に開催する「一万人エイサー踊り隊」にも参加し、充実した時間を過ごすことができました。今後は、メンバーを増やすためにもエイサーの魅力を知ってもらう工夫が必要です。

## 5 その他の事業

### 〔1〕 地域交流事業

#### 沖縄・ネパール文化交流プログラム「ネパールニューイヤーパーティー」

趣 旨 :近年ネパール人留学生の増加に伴い、文化の違いや公共空間での規範意識の違い等から地域住民とのトラブルが起こる場合がある。ネパール人と地域住民とが互いに住みよくあるために、交流イベントを通して相互理解を図る。今年の4月14日がネパール(ビクラム暦)のお正月にあたるため、ネパール料理や民族衣装の試着、文化紹介や演舞を一緒に楽しんで、新年を祝いながら互いの交流を深める。

期 日 :平成31年4月14日(日)

時 間 :12:00~15:00

場 所 :若狭公民館

対 象 :那覇市在住・在勤・在学の方

受講料 :無料

定 員 :なし

申込人数:事前受付なし

参加人数:350人

#### プログラム

時間	内容
12:00~	フード販売(ネパールカレー・アルアチャールセット、モモ、チャイ)、雑貨販売、民族衣装試着コーナー、協力出店団体(NPO法人エデンプロジェクト様、ワーカーズホーム様)
13:00~	【舞台プログラム】かぎやでふう(ボランティアスタッフ)、歌・ダンス(ネパール留学生)、三線(鶴見部屋)、創作エイサー(SEAN 沖縄)、空手(ONFA)、ネパールの文化紹介(ONFA) 【交流プログラム】ナマステ/ハイサイタイム(ONFA、ボランティアスタッフ)
15:00	終了、片付け



#### 【参加者の声】

ネパールの踊りはリズムカルだった。ネパール料理は初めてで、チキンカレーを食べたが美味しかった。

#### 【まとめ】

昨年に引き続き、沖縄ネパール友好協会(ONFA)と協力し、ネパール(ビクラム暦)のお正月を開催した。イベントを実施するにあたって、ネパール人留学生と地域住民のボランティアスタッフを募り、事前ミーティングから当日の準備・運営まで参加して頂き、スタッフ間の交流を図った。当日は、多くのボランティアスタッフの協力もあり、最後までスムーズに進行することが出来た。イベントでは、ネパールと沖縄の文化芸能の舞台演舞に加えて、参加者同士の交流を目的とした「ハイサイ/ナマステタイム」を設け、出題されたお題の答えを聞き出すために、在沖ネパール人と地域住民同士が積極的にコミュニケーションをとる様子が見られた。また、来場者にネパールについての理解をより深めてもらうために、会場内に留学生が制作した国紹介パネルや模型を展示した。加えて、ロビーでネパールに関連する団体に協力出店して頂き、ネパールのコーヒーや雑貨の販売を行い、一緒にイベントを盛り上げた。

今回は、これまでに比べて来場者同士が交流を深めながら異文化を理解し合うことができた。さらに、イベントに理解を示す協力者が増え、今後の異文化理解・国際交流に関する事業に期待が出来る。

## リッカ！ヤールーキャラバン！2019

趣 旨：防災・減災に役立つ知識はもちろん、いざという時の応急手当方法などを楽しく学ぶほか、災害に対する意識啓発も目的とした防災イベントを実施する。実施にあたっては若狭地域に限らない多くのボランティアスタッフを必要とすることから、世代間交流や地域内外の人的交流も期待できる。

期 日：令和元年9月1日（日）

時 間：10:30～13:00

場 所：那覇市津波避難ビル

対 象：どなたでも

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：事前受付なし

参加延べ人数：290人

### ◇学習プログラム◇

防災体操／対決！バケツリレー／紙食器づくり／ジャッキアップゲーム／とっさのひとこと／持ち出し品なあに？クイズ／応急手当ワークショップ／毛布で担架／水害紙芝居／シーサー劇場／家具転倒防止ワークショップ／なまずの学校／かえっこバザール／心肺蘇生法（那覇市防災危機管理課）／パーマカルチャー×防災×ティダクッキング／

防災・減災の知識を複数の防災プログラムを通してゲーム感覚で楽しく学ぶ。また防災プログラムと併せておもちゃの交換会を実施。プログラムに参加するとヤールーポイントをゲットでき、ポイントはおもちゃと交換できるほか、当日不要になったおもちゃを持ってきてポイントに交換することも可能。そして今回はスペシャルプログラムとして「パーマカルチャー×防災×ティダクッキング」を開催した他、市防災危機管理課による心肺蘇生法を学ぶブースの出展もあった。



### 【参加者の声】

- ・防災意識が高い方々が予想以上に多いことを知りました。
- ・たくさんの人と関わって楽しむことができた。こういったイベントを通して、防災について学べるように、何かイベント事は大切であると思った。
- ・とてもいい行事だった。また参加したいとおもった。

### 【まとめ】

今年は、例年実施しているプログラムに加え、大人も楽しめるようなプログラム「パーマカルチャー×防災×ティダクッキング」と題したクロストークと太陽光調理の実演も行なった。また、市防災危機管理課からの非常食の提供に加え、心肺蘇生法を学べるブースの出展もあり、共催としての開催が意義深いものとなった。

ボランティアスタッフは例年参加している顔ぶれに加え、初参加の方も多かったが、事前研修や自主練習などを行なってもらい、当日はスムーズなブース運営が行えた。

反省点としては開始時間の管理が甘かったことと、プログラム終了のタイミングで全てのプログラムを終了できなかったことが挙げられる。例年子どもたちはおもちゃコーナーに群がることが多いが、今年は各プログラムに積極的に参加している姿が目立った。そのためプログラム終了の案内以降も子どもたちがどんどんブースにやってくるため、なかなか終了の区切りがつかなかった。プログラム実施時間は今の所1時間程度なので、もう少しプログラム実施時間を延ばす等、次年度以降は時間配分を再考してもいいかもしれない。

## うみそら上映会in若狭海浜公園

趣 旨：有志を集めて結成された実行委員会で、上映内容や方法を企画立案し、若狭海浜公園にて様々な種類の作品を上映する。自由なアイデアを出し合いながら協力し、回を重ねるごとにより充実した事業を作り上げていく。また、誰もが利用できる公園で上映することによって、近隣住民だけでなく地域や世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場とする。

期 間：令和元年6月14日～10月11日（金）

時 間：19：30～20：30 （10月11日のみ 19：00～20：00）

場 所：若狭海浜公園、若狭公民館第1研修室

対 象：どなたでも

受講料：無料

定 員：なし（事前受付なし）

参加延べ人数：588人

実行委員会		
日 時	内 容	参加者数
5月13日	今年度実行委員会立ち上げ。昨年の上映会を振り返り、今年の運営について話し合い。	7
6月6日	盛り上がるためのアイデア出し。第1回の上映作品決め、当日の役割決め。	4
7月8日	第1回の振り返り。第2回の上映作品、役割決め。	6
7月24日	第2回の振り返り。第3回、第4回の上映作品決めの試写会。改善点確認。	4
9月2日	第5回上映作品を決めるための試写会。次年度の上映会にむけての話し合い。	7

上映会		
日 時	内 容（短編映画/16mmフィルムアニメ/懐かしの8mmフィルム映像）	参加者数
6月14日	RUMHALマ／おばけのびんづめ／ザ・ナンミン	約70
7月12日	選ばれた男／七夕ものがたり／泊港・那覇港	約100
8月9日	うんじゅぬ花道／組踊の生みの親 玉城朝薫／執心鐘入／琉球舞踊・組踊	約40
9月13日	こころ、おどる／木こりのドナルド／羊のようなライオン／沖縄のこどもたち	約150
10月11日	愛と藍／おにのたいこ／へーイ！ブンプー～生きている自動車～／那覇大綱挽きと旗頭	約200



### 【参加者の声】

食べ飲み、ワイワイしながら、子どもたちも自由に参加できるので、この上映会が大好きです／心地良い風に吹かれながら映画が見れて、とても良い時間でした。みなさんなんだかいい感じ、ステキなイベントです／地域の住民子どもたちからお年寄りまでが参加型で子ども主体の司会も良かったです

### 【まとめ】

今年は、全5回開催することができ、他企業・団体とのコラボレーション企画や草遊びコーナー、キッチンカーなどの新しいコンテンツも増え、バージョンアップした上映会となった。3年目ということもあり、リピーターも増えているので、今後は、新たな上映作品を選定していく必要がある。また、実行委員会のメンバーをもっと増やすために学生なども積極的に巻き込んでいきたい。

## 第23回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施する。また高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と、地域の連帯意識の強化を柱に、外国の方々との交流を図る。かつ、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

期 日：令和元年10月26日（土）

時 間11：00～18：00

場 所：若狭海浜公園

参加延べ人数：3,500人

主 催：NPO法人地域サポートわかさ

### プログラム

舞台発表	ジュニアジャズオーケストラ、ネパールダンス、こどもエイサー 他
こどもイベント広場	りゅうちゃん ふわふわ、ゲームコーナー 他
各種ブース	無料認知症相談、保育園児によるお呈茶、読み聞かせ 他
出 店	沖縄そば、ヤギ汁、ネパールカレー、たこ焼き、キッチンカー 他



(まとめ)

第23回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。

舞台発表は、幼児、児童・生徒、地域婦人部、サークル団体等の発表の場となっているほか、獅子舞、エイサー、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触れる機会となっている。また昨年に引き続き、沖縄ネパール友好協会からの出店や舞台出演もあり、異文化交流の場ともなっている。子どもイベント広場では、大型エアートランポリン、ゲームコーナー、大道芸もあり人気を博した。さらに、園児によるお呈茶や、舞台出演、中学生ボランティアの活躍など子どもたちも一緒になって祭を盛り上げてくれた。天気にも恵まれ、祭の開始から終了まで多くの人が楽しんでいる光景が見られ、地域交流の良い機会となっている。

## CGG 年末美化清掃プラス ONE

趣 旨：なは教育の日関連イベントとして、自治会、婦人会、小中高生、PTA 関係者、NPO、公民館利用団体及び各機関が一体となって若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施する。また、清掃終了後にはプラス ONE 活動として若狭公民館利用団体連絡協議会によるふるまいなべ（豚汁）を食べて、参加者同士の交流を深める。

期 日：令和元年12月15日（日）

時 間：9：30～12：00

会 場：旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園、若狭公民館周辺

対 象：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA 関係者など

参加延べ人数：144人

### プログラム

No.	時 間	内 容	詳 細	人 数
1	9：30 ～11：00	地域清掃	開会式、地域の清掃 (若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園ほか)	144
2	11：00 ～12：00	シンメナービ 交流会	シンメナービによる豚汁・おにぎりを食べ ながら交流会（若狭公民館駐車場）	



#### <主な参加団体>

NPO 法人ナハ・シー・パラダイス協議会／若狭1丁目自治会／若狭2丁目自治会／若狭めもと自治会／若狭市営住宅自治会／若狭小学校区まちづくり協議会／若狭公民館利用団体連絡協議会／那覇中学校／若狭小学校／若狭こども園／マックスバリュ若狭（順不同）、ほか

#### <まとめ>

今年で15年目を迎える本事業は、各団体が連携し呼びかけを行い、毎年100名を超える幅広い世代の方が参加しています。今年度は、特に那覇中学校のボランティア学生が多く参加しており、足場が悪くゴミの多い海岸付近を地域の方々と協力して清掃していました。また、これまでの清掃区域に加えて、利用団体連絡協議会を中心に若狭公民館周辺の清掃も行い、より広範囲にわたって活動できました。清掃終了後は、プラス ONE 活動として公民館利用団体連絡協議会から豚汁とおにぎりが振舞われ、参加者同士の交流を深めることができました。

本事業を通して、地域住民の世代を越えた交流ができ、目的とする“顔の見える関係づくり”につながりました。しかし、全体的に見て若い世代の参加が少ないので、今後は他機関との連携企画や広報などに力を入れていきたいです。

## 新春 もちつき大会

趣 旨：地域の皆さまの健康と子ども達の健やかな成長を願って餅をついて新年を祝う。また、地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

期 日：令和2年1月11日（土）

時 間：10：00～12：00

場 所：那覇市若狭公民館玄関前

対 象：地域住民

参加費：無料

参加者延べ人数：250人

### 【 プログラム 】

司会：若狭ちむどんどん太鼓（上原優菜、大城友伽）

- 開会の挨拶（若狭公民館館長 宮城潤）
- 旗頭（若狭・松山旗頭実行委員会）
- 主催者挨拶（NPO 法人 地域サポートわかさ 理事長 早川忠光）
- 激励の言葉（若狭小学校校長 手登根宏）
- 新成人の挨拶（那覇中学校区成人式実行委員会実行委員長 徳田地球）
- オープニング  
お正月の歌「一月一日」  
合奏と獅子舞（あゆみ幼児学園）  
子どもエイサー（若狭ちむどんどん太鼓）  
獅子舞（波上宮獅子舞保存会）
- つき始め式 各自治会会長および関係者
- 餅つき体験と振る舞い餅



（まとめ）

地域のシンボルである旗頭を掲げ、あゆみ幼児学園による獅子舞に合奏、子どもエイサー、波上宮獅子舞保存会による迫力ある獅子舞で賑やかな幕開けとなり、世代を超えて大勢の住民が集い餅つきをして新年を祝いました。この「新春もちつき大会」恒例の行事として継続できるのも関係者の協力があるからこそ、今年も自治会、交通指導員、若狭・松山旗頭実行委員会、那覇中校区成人式実行委員会のもと盛大に実施することができました。

## 防災キャンプ '19 夏

趣 旨:災害の多発する昨今において、災害時避難や避難所運営等については行政のみならず、地域住民自らが自助・共助の意識を持ち積極的に動くことが必須となる。そこで今回、那覇市津波避難ビル及び若狭公民館を会場に防災キャンプを開催。日中は津波避難ビルにて防災関連ブースを出展し、参加者の日頃の防災意識啓発につなげ、夜は若狭公民館にて宿泊を行う。擬似避難体験を通して実際の避難所で必要となる物事や想定される問題点、またそれらの対処法や、平時にできる備えについて議論・共有し、地域住民が自分たちでできること、補っていかねばならないことを見出すことを目的とする。

期 間:令和元年8月10日(土)～11日(日)

時 間:15:00～翌10:00

場 所:那覇市津波避難ビル・那覇市若狭公民館

対 象:どなたでも

受講料:無料

定 員:事前受付なし

参加延べ人数:69人

### ◇学習プログラム◇

【昼の部】8月10日(土)15:00～19:00

① 防災関連ブースの出展

ペット防災/シェアキッチン/テントブース/那覇市防災危機管理課ブース/その他支援者体験希望者による自主出展

② 識者によるトークタイムの開催

【夜の部】8月10日(土)21:00～翌11日(日)10:00 参加人数:15人

避難所への避難を想定し、各自の寝床づくりやシェアキッチンでの食べ物の準備、また実際の避難所生活の実態についての講話を聞く、他。



### 【参加者の声】

- ・ 集団で宿泊する場にペットを連れて参加するのは初めてだった。不安もあったが、経験できてよかった。
- ・ このような機会はあまりないので、子どもと一緒に参加できてよかった。

### 【まとめ】

昨年度の1月から取り組んでいる防災キャンプも今回で3回目の開催となった。今回は那覇市津波避難ビルにて昼の部を開催し、防災関連ブースの出展を行なった。夜の部は若狭公民館ホールに会場を移し、避難所への避難を想定した1泊2日のキャンプを行なった。昼の部ではシェアキッチンブースやペット防災ブース、防災危機管理課の非常時グッズの展示、テントブースや児童館の子どもたちが作成した防災マップの展示などを行なったほか、ブースツアーの中で津波避難ビルの備蓄倉庫の見学も行なった。夜の部の宿泊ではペットを同伴しての参加者もいたことから、ペット同伴での避難所での過ごし方を擬似体験できる貴重な機会にもなった。反省点としては、開催場所の調整に時間がかかったことから広報期間が短かったことと、当日の会場は位置や運営方法も改善が見込めると思う。次回の秋の開催につなげていきたい。

## なは防災キャンプ '19 秋

趣 旨 : 那覇市の広域避難場所に指定されている那覇新都心公園を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。テント泊を通して屋外避難を疑似体験することで、もしもの時に活用できる野外活動のノウハウを実践を通して身につける。また、新都心公園に備えられた災害時機能について学ぶ機会とする。様々な個人・機関との連携を通し、継続的に機能する災害時プラットフォームの形成を促進する。

期 間 : 令和元年11月9日(土)～10日(日)

時 間 : 13:00～翌10:00

場 所 : 那覇新都心公園

対 象 : 那覇市在住・在勤・在学者、関心のある方

受講料 : 無料(保険料一人100円徴収)

定 員 : 20組程度 申込人数: 38人[夜の部](うち受講決定人数38人)

参加延べ人数: 150人

### ◇学習プログラム◇

【昼の部】11月9日(土)13:00～17:30頃

#### ① 防災関連ブースの出展

ペット防災/シェアキッチン/テントたて/那覇市防災危機管理課/team や～にんじゅ/受付/おでかけヤールーキャラバン

#### ② 防災散歩

その1: 那覇新都心公園の災害時機能見学(ガイド: 那覇市防災危機管理課職員)

その2: 出展ブースツアー(ガイド: 災害ソーシャルワーカー 稲垣暁氏)

【夜の部】11月9日(土)17:30～翌10日(日)10:00 参加人数: 41人

(夜) 公園にテントを設置し宿泊/シェアキッチンの活用

(朝) ラジオ体操/全員で朝ごはん/参加者振り返り会



### 【参加者の声】

(大人)

- ・公園(新都心)にこんなにたくさん防災対策が考えられてると知り驚いた。
- ・避難所としてのキャンプの考え方等、1日だけでなく(災害時には)何日も続くと…考えさせられました。

(子ども)

- ・もうちょっととまりたかった。バーベキューしたかった。子どもがいるところもうちょっとほしかった。
- ・楽しかったけど寒かった。

### 【まとめ】

4回目となる防災キャンプは、市の広域避難場所の一つである那覇新都心公園にて開催。新都心公園での宿泊が許可される初の事例となった。参加者は親子連れが多く、公園近隣校にチラシを配布しことから近隣住民の参加も目立った。またペット同伴者や、キャンプ初体験の参加者も複数いた。日中のプログラムや、テントで一晩を過ごす経験、また被災者・支援経験者から直接体験談を聞く機会を持ったことで、多くの参加者にとって学びの多い機会となったようだ。また、公園の災害時機能については知らない人がほとんどだったことから、今回防災散歩で災害時機能について学べたことはよかった。アンケートからも満足度の高さが伺えた。

## なは防災キャンプ '20 冬

**趣 旨** :今回で第5回目となる防災キャンプは、昼の部・夜の部・朝の部の3部構成で開催。昼の部では防災キャンプ過去4回の取組報告・分科会・模擬情報共有会議を行い、これまでの取り組みの共有を図る。夜の部では若狭公民館ホールにて防災キャンプを開催。基本的に自己完結型で、参加者は非常時避難を想定した荷物を持参し一晩を過ごす。今回は夕食にシェアキッチンを実施。一人一品食材を持ち寄り、持ち寄った食材からメニューを考え調理をする試みを行う。寝床作りも行う。今回もペット同伴避難訓練も視野に入れペット同伴可とする。朝の部では、福岡より被災地支援のプロ藤澤健児氏をお招きし「災害支援のプロに聞く！いざという時に効く備え」と題した講演会を開催。昼の部・朝の部は宿泊しない方でも参加可能とし、より多くの方に参加の機会を提供し、一人でも多くの方が防災意識を高め、災害時を想定した備えに対するアクションを起こせるよう啓発する。

**期 間** :令和2年1月11日(土)15:00~12日(日)12:00

**場 所** :那覇市若狭公民館

**対 象** :那覇市在住・在勤・在学者、関心のある方

**受講料** :無料(保険料一人200円徴収)

**定 員** :20組50名程度 申込人数:29人(うち受講決定人数29人)

**参加延べ人数**:138人



### ◇学習プログラム◇

**【昼の部】**1月11日(土)15:00~18:00頃 参加人数:53人

取組報告・分科会・模擬情報共有会議

**【夜の部】**1月11日(土)18:30~翌12日(日)12:00 参加人数:45人

シェアキッチン・寝床づくり・防災ゆんたく会・振り返り会

**【朝の部】**1月12日(日)10:00~12:00 参加人数:40人

講演会「災害支援のプロに聞く！いざという時に効く備え」 講師：藤澤 健児氏

### 【参加者の声】

(大人)

・一人一人で役割を担うこと、協力し合うことで、不満を感じにくくなる。誰かまかせにしないということ。キャンプセットがあると防災時に非常に役立つなと思いました。

・様々な動画と避難所の様子をとった写真現場の話聞いて自分ごととして考えることができました。今日は貴重な講演ありがとうございました。

(子ども)

・ふだんのせいかがありがたいことだとわかった

### 【まとめ】

これまで4シーズンで開催したなは防災キャンプの節目として3部構成で開催。今回は宿泊のみならず、昼の部では報告会や分科会、模擬情報共有会議を通して話を聞く・話し合う場を設け防災・減災に関する学びを深める機会を持った。これまで関わりを持ってきた専門家やアウトドア熟達者に加え、新たなステークホルダーも生まれ充実した回となった。一般参加者の特徴としては、特に夜の部は家族連れかつ公民館近隣に住む方の参加が目立ち、子ども、そしてペット(犬)の参加によって場が和んだ。夜の部でも宿泊を通して災害時の寝床や食について考える機会を持ったほか、災害支援者・被災経験者からの話を直接聞く機会を通して学びを深めた。朝の部では被災地支援のプロによる講話を通し、実際の被災地の実態、そしてそこから学ぶ備えについて学びを深めた。

## 〔2〕 提案事業

### 第6回こども国際映画祭 in 沖縄 (KIFFO)

趣 旨：「多感な時期に映画を通じて世界を感じてほしい。世代や地域を超えた人間関係の世界を広げてほしい」との思いから開催される『こども国際映画祭 in 沖縄』に向けて、こどもたちに映画祭に向けて学びスタッフとしての基礎知識を体験・習得してもらう。

期 間：令和元年6月9日～令和2年2月15日

時 間：子ども実行委員会 10時～12時 定期上映会 14時～17時

場 所：沖縄県立図書館・若狭公民館ホール・第1研修室・ホール

対 象：9歳～15歳

受 講 料：無料

定 員：なし（事前申込なし） 参加延べ人数：475人

#### プログラム

回	日時	実行委員会 (回)	場所	内容	参加人数
1	6月9日 14時～17時	講座	沖縄県立図書館	おしゃべり会サポート講座	10名
2	6月16日 14時～17時	6月定期上映会	沖縄県立図書館	映画『ジグザグキットの不思議な旅』	28名
3	7月21日 14時～17時	7月定期上映会	沖縄県立図書館	映画『あぜみちジャンピン！』	45名
4	8月4日 14時～17時	8月定期上映会	若狭公民館 第1研修室	講演『親子で学ぼう！心が生きる体のはなし』映画『ネコのミヌース』	85名
5	9月15日 10時～17時	子ども実行委員会 9月定期上映会	若狭公民館 第1研修会	オリエンテーション・役割決め 映画『ハルを探して』	33名
6	10月20日 10時～15時	子ども実行委員会 10月定期上映会	若狭公民館 ホール	司会・審査員チームに分かれて活動 映画『地平線のキックオフ』	21名
7	11月3日 10時～17時	子ども実行委員会 11月定期上映会	若狭公民館 沖縄県立図書館	動画作成・司会の練習 映画『菜の花の沖縄日記』	23名
8	12月15日 10時～17時	子ども実行委員会 12月定期上映会	若狭公民館 沖縄県立図書館	動画作成・司会の練習 映画『京都国際こども映画祭コラボ短編映画』	38名
9	2月1日 10時～17時	子ども実行委員会	若狭公民館 ホール	60秒動画審査・司会練習 子ども映画祭リハーサル	10名
10	2月8日 10時～17時	スペシャルイベント	琉球新報ホール	映画『自転車』 60秒動画コンテスト受賞紗発表&表彰式	145名
11	2月15日 10時～17時	子ども実行委員会 2月定期上映会	若狭公民館 沖縄県立図書館	映画『弟が犬になっちゃった』 本祭りリハーサル	37名

(まとめ)

今年は、子ども達にもっと映画を見る機会と感想を話し合う機会を創出するために、定期上映会『月に1度の小さな映画祭』を開催しました。また、上映後のワークショップで映画の感想を自由に言い合う時間を設けて、お互いの意見を認め合いながら様々な意見を共有しました。さらに、2月にスペシャルイベントとして新報ホールで映画上映会の開催に向けて、全6回の子ども実行委員会を開き、参加者同士でコミュニケーションをとりながらイベントを作り上げる楽しさを感じることができました。



# 移動式屋台型公民館を活用した住民主体の「つどう・まなぶ・むすぶ」

## 創造拠点創出事業

趣 旨：今日的な課題が顕著に表れている曙地区にて、私設公民館「パーラー公民館（移動式屋台型公民館）」の活動を展開する。公民館の本来の役割や機能を地域で展開するにあたり、社会課題に対して活動する様々な専門機関と連携しながら取り組みを行う。実施する取り組みは、経験豊富な全国のアートNPOと協働し、創造的でユニーク、かつ他の公民館等でも汎用可能なモデル性の高いものとする。本事業により、地域の諸課題に対して住民自ら行動する機運を醸成し、地域活力を創出することを目指す。

期 間：令和元年6月6日～令和2年2月28日

通常開館 令和元年6月～12月まで月3回（全21回）

その他イベント・ワークショップ（全14回）

場 所：那覇市曙地区（あけぼの公園、曙小学校）、若狭公民館ホール、那覇市緑ヶ丘公園、

対 象：那覇市在住・在勤・在学

受講料：無料

参加延べ人数：1549人（通常開館：802人、イベント・プログラム：747人）

支 援：沖縄県、公益財団法人沖縄県文化振興会

### プログラム

	日にち	イベント・ワークショップ	場所	人数
1	8月17日	イベント「フルムーン映写会」	緑ヶ丘公園	150
2	8月21日	WS「ご近所映画クラブ」	曙小学校	14
3	8月24日	WS「みどりがおか図鑑をつくろう！」	緑ヶ丘公園	7
4	8月25日	WS「あけぼの図鑑をつくろう！」	あけぼの公園	16
5	9月27日	イベント「うみそら上映会」	曙小学校	150
6	10月16日	WS「コマ撮りアニメーションをつくろう」	あけぼの公園	20
7	10月22日	WS「みどりがおかZANEをつくろう！」	緑ヶ丘公園	5
8	10月30日	イベント「ちょこっと☆ハロウィン」	あけぼの公園周辺	250
9	11月16日	WS「地域のうたをつくろう！」	緑ヶ丘公園	20
10	12月1日	WS「さかさまBOX」	緑ヶ丘公園	10
11	12月1日	WS「さかさまBOX」	あけぼの公園	15
12	令和2年1月18・19日	パーラー公民館祭り！	若狭公民館ホール	90



（まとめ）

今年度は、補助事業終了後も継続していける体制づくりをつくるため、地域住民にスタッフとして参加してもらいむすぶ取り組みにも注力した。あけぼの公園以外にも活動の範囲を広げ、浜松市でもパーラー公民館が開館されたり、新しい公民館の形のモデルとして提案が出来たと思う。

# 公民館まつり

## 第28回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深める。

期 間：令和2年2月8日（土）、15日（日）、16日（土）

会 場：若狭公民館 参加延べ人数：2240人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・図書館、NPO法人地域サポートわかさ

内 容	時 間	会 場	参加人員
社交ダンスパーティー	8日(土)18:30～21:00	ホール	100
バルーン講習会	14日(土)15:00～17:00	第1研修室	20
オープニング	15日(土)9:30～	公民館前道路	60
バザー	15日(土)オープニング終了後 16日(日)10:00～16:00	玄関前	300
親子で作るお菓子の家	15日(土)10:00～12:00	ホール	60
体験教室 「ハワイアンフラ体験会」	15日(土)10:30～13:30	和室	30
展示発表	15日(土)10:00～17:00 16日(日)10:00～16:00	第1研修室 第2研修室	200
舞台発表	16日(日)12:00～16:00	ホール	1000
出店コーナー	16日(日)11:00～15:30	玄関前	200
喫茶コーナー	15日(土)10:00～16:00 16日(日)10:00～16:00	2階ロビー	270



### (まとめ)

第28回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体連絡協議会が中心となって、舞台発表、展示発表、体験教室、運営などを行った。今年は、天候が心配されたが野外のオープニングイベントは無事開催することができ、地域の方が多く参加してくれた。「ハワイアンフラ体験教室」では、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方が参加し、終始賑やかな雰囲気だった。その他コーナーでも利用団体はじめ、地域住民等の協力によりスムーズに運営することができた。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり「健康相談コーナー」を設けることが出来ず、展示コーナーを訪れる人が少なかったように感じる。また、利用団体会員の高齢化が年々進んでおり、幅広い層に利用してもらい活性化に繋げる必要がある。

公民館まつり風景



親子で作るお菓子の家



オープニング



体験教室「ハワイアンフラ」



社交ダンスパーティー



展示発表



舞台発表



バザー



喫茶コーナー